

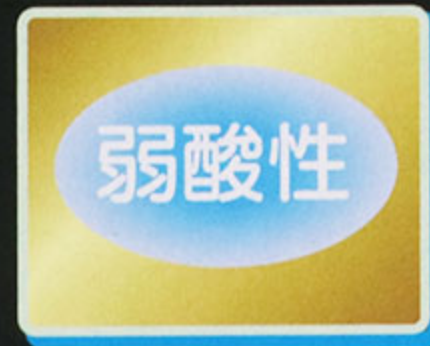
インドメタシン[★]が

痛みの元に浸透!

肌にやさしい弱酸性

リフエンダID0.5%

インドメタシン 経皮吸収型鎮痛消炎剤



腰痛

肩こりに伴う
肩の痛み

関節痛に

1枚(10cm×14cm)

第2類医薬品

使用前にこの説明文書を必ずお読み下さい。また、必要な時に読めるよう大切に保管して下さい。

インドメタシン経皮吸収型鎮痛消炎剤

リフェンダID0.5%

第2類
医薬品

【特長】

- 肩・腰・関節などの痛みにすぐれた効果を発揮する鎮痛・消炎パップ剤です。
- インドメタシンが患部に直接浸透し、痛みの原因プロスタグランジンの発生を抑えます。
- 伸縮性に富んだ不織布を使用しているため、すぐれたフィット感が得られます。

⚠【使用上の注意】

❌ **してはいけないこと** [守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります]

1. 次の人は使用しないで下さい。
(1)本剤による過敏症状(例えば発疹・発赤、かゆみ、かぶれ等)を起こしたことがある人。[以前お薬を使用してアレルギー症状を起こしたことがある人は、再び同じお薬を使用すると更に強い症状を起こす可能性があります。]
(2)ぜんそくを起こしたことがある人。[ぜんそくのある人がインドメタシン等の抗炎症剤を使用するとぜんそく発作を誘発することがあります。]
(3)15歳未満の小児。
2. 次の部位には使用しないで下さい。
(1)眼の周囲、粘膜等。(2)湿疹、かぶれ、傷口。(3)水虫、たむし等又は化膿している患部。
3. 連続して2週間以上使用しないで下さい。



相談すること

1. 次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。
(1)医師の治療を受けている人。(2)妊婦又は妊娠していると思われる人。
(3)本人又は家族がアレルギー体質の人。
(4)薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
2. 使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに使用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

関係部位	症 状
皮ふ	発疹・発赤、はれ、かゆみ、かぶれ、ヒリヒリ感、熱感、乾燥感、皮下出血

3. 5～6日間使用しても症状がよくなりえない場合は使用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい。

【効能・効果】

腰痛、関節痛、肩こりに伴う肩の痛み、筋肉痛、腱鞘炎(手・手首の痛み)、肘の痛み(テニス肘など)、打撲、捻挫

お問い合わせ先:株式会社タカミツ
フリーダイヤル 0120-459533/受付時間 [月～金曜日 9:00～17:00 祝祭日を除く]

【用法・用量】

プラスチックフィルムをはがし、1日2回を限度として患部に貼付して下さい。

【用法・用量に関する注意】

(1)定められた用法・用量を守って下さい。(2)本剤は、痛みやはれ等の原因となっている病気を治療するのではなく痛みやはれ等の症状のみを治療する薬剤なので、症状がある場合だけ使用して下さい。(3)汗をかいていたり、患部がぬれていたりする時は、よく拭き取ってから使用して下さい。(4)皮ふの弱い人は、使用前に腕の内側の皮ふの弱い箇所に、1～2cm角の小片を目安として半日以上貼り、発疹・発赤、かゆみ、かぶれ等の症状が起きないことを確かめてから使用して下さい。

【成分・分量】〈膏体100g(1000cm²)中〉

インドメタシン……………0.5g

添加物:ベンジルアルコール、ポリソルベート80、ポリアクリル酸部分中和物、ポリビニルアルコール、CMC-Na、グリセリン、D-ソルビトール、カルボキシビニルポリマー、酒石酸、エデト酸Na水和物、トコフェロール酢酸エステル、ビタミンC、L-メントール、カオリン、酸化チタン、ジヒドロキシアルミニウムアミノアセテート、1,3-ブチレングリコール、ヒマシ油、香料

【保管及び取扱い上の注意】

- (1)高温・直射日光をさけ、なるべく湿気の少ない涼しい所に保管して下さい。
- (2)小児の手の届かない所に保管して下さい。
- (3)他の容器に入れ替えないで下さい。[誤用の原因になったり品質が変わるおそれがあります。]
- (4)使用期限を過ぎたものは使用しないで下さい。
- (5)開封後は、未使用分を袋に戻しチャックを閉じて保管して下さい。
また、品質保持の点からなるべく早くご使用下さい。

【包装】

1枚:10cm×14cm

製造販売元



株式会社タカミツ

〒462-0803 名古屋市北区上飯田東町4の68の1

副作用被害救済制度の問い合わせ先
(独)医薬品医療機器総合機構
<http://www.pmda.go.jp/>
電話 0120-149-931 (フリーダイヤル)